

差出人: [REDACTED]
送信日時: 2026年10月8日木曜日 23:15
宛先: [REDACTED]
件名: RE:『SONY』への公開質問状

ソニーグループ株式会社
代表執行役 社長 CEO 十時 裕樹 様
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
ビジネス推進部門
副部門長 [REDACTED] 様
CX推進部部長 [REDACTED] 様

十時社長のメールアドレス不明につき転送ください。

2026年10月6日付「公開質問状に関する件」を受領しました。

先ずは、ご指摘の御社担当者の氏名及びメールアドレス記載の頁を削除せずにホームページにアップしてしまったことを深くお詫びし、早速同ファイルを差替え対処いたしました。

状況は、対象メールの各ページの個人情報情報をマスキングする際、必要頁をマスキングした後、それ以後の不要頁の削除を漏らしました。

原因は、私の注意力散漫による不注意そのものに他なりません、重ねてお詫びいたします。今後、更に集中し実施いたします。

さて、遺憾ながら第109回ソニーグループ株式会社定時株主総会で十時社長より「CSRは重視しており、事業部門から回答します。」との回答<https://x.gd/2h2FG>以前に頂いた2026年5月29日付「ご回答」<https://x.gd/zNFWy>から音沙汰なかった2ヶ月を含む4ヶ月強が過ぎた今回の回答<https://x.gd/7pW42>に何ら進展はありませんでした。特に、「『SONY』への公開質問状」<https://x.gd/60cpD>の目的に対し、回答の「組織体制の抜本的な見直しをもって、本件に関する弊社からの回答」で済むステージにはありません。

「本件に関する対応や対話を打ち切った事実は一切ございません。」とのことでしたが、この間私は全く無駄な時間を費やさされたにすぎません。ここにも『SONY』と言う会社の他人の時間に対する認識がにじみ出ています。

私は、現段階で「返金先口座のご連絡」はするつもりはありません。

「利用料金及び法定利息を加算した金額につきまして、供託手続き」とのことですので、話し合いは打ち切ることを意味しますので、私も本メールを最後に次のステージへ進めざるを得ません。

以上

湯澤秀昭
